

經濟週刊

青島日本商業會議所

第百二八號

中華民國特准掛號  
新聞紙類  
大正十四年十一月十六日發行  
每週月曜日

自一九二二年上海港輸出  
至一九二四年入貿易表  
大正十三年度  
日本鹽業株式會社聯合會

報第一三四號 四日市商業會議所  
報第一三三號 濰州米穀協會  
報第一七號 松山商業會議所

報第一二五號 青島同業會  
報第一三三號 濰州米穀協會  
報第一七號 松山商業會議所

報第一二五號 青島同業會  
報第一三三號 濰州米穀協會  
報第一七號 松山商業會議所

發行所 青島日本商業會議所

本號記事

- 膠濟鐵路狀況調查報告(其三)
- 徐海延長線開通と高徐線價値の増減(其二)
- 支那の精鍊労働
- 銀塊並爲替(自二日至七日)
- 商況(同)
- 日置全權の演説
- 支那の釐金撤廢大綱案

膠濟鐵路狀況調查報告(其三)

三、貨物運輸噸數増加の豫測

運輸の部

子 自然増加數量

查するに該沿線各種土產物は從來より豊富と稱せらる、特に石炭を以て最も多しとなす其各地間來往の輸送は凡て鐵道に依頼するが故に貨物輸送は比較的容易に發達す、既往八年間(自一九一五年至一九二二年)貨物輸送の自然増加率は平均毎年約一二%に達せり(自一九一五年至一九一八年は該鐵道の貨物運輸が最も發達したる時期なり、當時歐洲戰の爲に各國の需用する鐵、石炭、食料品等が頗る巨額に達したるか故なり)自一九一九年至一九二三年の期間は各國の需要減退したるが故貨物運輸亦之に隨伴して遜色あり供給の多寡は輸送の狀況に依り轉移するは自然の理なり種々なる理由を以て之が將來を推測するに該鐵道の貨物運輸は日に増し發展の傾向を見る左に之を詳言せば

甲、石炭產出の増加

(一)淄川炭礦が該鐵道と分離して魯大公司繼承後經營慘憺として餘力を遺さざるに因り將來該礦山の產炭數量は必ず現在に比較して増加すべし

(二)坊子、明水、博山、大崑崙各地の

炭礦會社は石炭輸送上の便益を圖る爲自ら輕便鐵道を築造し前後之が營業を開始せり、豫測するに毎月の石炭可能產出數量數萬屯其數等しからずと雖も將來該鐵道の輸送數量を増加せしむるは鐵道自身の意中にあるなり

乙、普通貨物輸送數量の増加

普通貨物の輸送に關しては先に該鐵道が外人の管理時代に於て其々の政策同しからざりしと共に之に因りて起る現象殊に懸絶せり故に沿線に於ける普通貨物輸送は充分發達する能はざる所なり、現在我國が回收自營することあるも凡て日本管理時代の舊則に據る、如此は須り詳細考究して短を捨て長を取りて極力沿線の各種實業を提倡振興せば將來土產物の產額を増大せしめ得べく且つ該鐵道の外人管理時代には貨物に就て未だ國有各鐵道との聯絡運輸なかりしが是又貨物輸送上影響無かりしとせざるが故將來此聯絡輸送實施を見んか自ら該鐵道の貨物輸送數量増加するに至るべく然るとき本年以後最も穩當なる推測を以てするも其増加率を百分の九と見込し得らるゝを以て一九三七年には總噸數正に五百四十八萬噸に達すべく之を一九二三年と比較せば二百萬噸の増加にして一倍有餘に當るべし

丙、建設可能の支線

青島の地勢は天然に海陸交通上重要且つ便利なる形勢を占む地理上よりは山東の咽喉を扼し、事實上には中國の重心たり故に獨人占領以來一面には港灣埠頭を修築して水運の便を圖り一面には鐵道を建設して陸路の交通を開き膠濟線以外更に順濟(順德濟南間)高徐(高密徐州間)に意を注ぎ一は西北に向ひ、一は西南は向つて深く腹心に突入し他日瓜分の計を期せり、我國の收回後は獨人が鐵道經營を政治上の野心遂行の具に供したるを一變

して營業擴充の計畫に替む此等計畫完成の爲先づ線路の擴張を謀れり線路の擴張とは支線の増築と延長線建設との二種を謂ふ茲に先づ支線建設の事に就て述べむに膠濟鐵路が未だ建築されざる以前に在りては山東地方の輸出入は皆登州に屬する煙台(芝罘)よりして之を各海港に轉送せり該鐵道建築成り青島開始後に於ては物產の輸出入は煙台に向はずして青島に趨り煙台の貿易は頓に減退せり此現象より觀測するに青島商業の興隆は天然的地勢の然らしむる所と雖も交通上の便利が實に之が主要原因たるなり之に鑑み相互補助及調節の見地よりして民國九年秋、煙灘自働路を建築し將來鐵道に改築するの基地を開けり調査するに煙灘自働路の通過する膠州管内蓬、黃二縣萊州管内の朱橋沙河の如きは皆出產物豐富の區にして殊に掖縣の麥稈真田、昌邑の絹糸、絹紬は輸出品の大宗たるものなり、膠濟鐵道が若し經營の餘力を以て煙灘自働路を支線に改築せば但に勞勤くして功之に倍するの効績を收むるのみならず沿線に於ける實業の發展亦之に依りて勃興すべしか、更に調査したる所に依れば該鐵道金鐵支線(金嶺鎮、鐵山支線)より東北して羊角溝の西南に一鎮あり索鎮といふ人烟稠密商業繁盛にして物品の輸出入亦旺盛なるも祇だ交通不便なるを以て輸送難を稱するが故に商業も之が爲發展を阻碍せらる該所の輸出入品は棉花、豆油、豆粕、石炭、高粱、小麥を大宗品とす内地交通路は小清河に據り海洋交通は羊角溝に待ち其輸送機關は對船(譯者註、對船とは小清河特有の舟形にして小舟二艘の船尾を繋ぎ合せて一隻とし上下航に際し回轉する要なきものなる)帆船に據るものなるが船夫の荷扱きと天候の阻滯に因り輸送上困難を痛感し居りて通商發展せざる所以なり、若し此地に鐵路を通するに於ては貿易の増加毎年約二十萬を期待し得べしとのことなり膠濟鐵道が日本

管理時代運輸の發展と營業擴充の見地より會て測量を行ひ鐵山より延長して索鎮に達せしめ此不便を救はんと圖りしが購地と墳墓移轉に關する困難甚しきものありしと又本鐵道を支那政府に還付の時期も近づきたるを以て中止せるものなり茲に營業發展の爲に計れば張店より羊角溝に延長して張羊支線と爲すか或は鐵山より索鎮に延長して鐵索支線とらしむ可きかの二途なり、何にしても現實に急設を要とす將來營業發達の曉には進んで獨逸人な設定したる本來の計畫を逐ふて高密より徐州に延長して内地の腹心に突入し江蘇、河南の產品を綜攬するに於ては該鐵道の發展は正に止まる所なきに至らる

管理時代運輸の發展と營業擴充の見地より會て測量を行ひ鐵山より延長して索鎮に達せしめ此不便を救はんと圖りしが購地と墳墓移轉に關する困難甚しきものありしと又本鐵道を支那政府に還付の時期も近づきたるを以て中止せるものなり茲に營業發展の爲に計れば張店より羊角溝に延長して張羊支線と爲すか或は鐵山より索鎮に延長して鐵索支線とらしむ可きかの二途なり、何にしても現實に急設を要とす將來營業發達の曉には進んで獨逸人な設定したる本來の計畫を逐ふて高密より徐州に延長して内地の腹心に突入し江蘇、河南の產品を綜攬するに於ては該鐵道の發展は正に止まる所なきに至らる

查するに鐵道交通の最も貴しとする所は縱橫方に能くして南北に溝通し東西に貫注して地方產業の發達を助長し交通の眞理を發揮するにあり惟ふに現在鐵道敷設の形勢は京漢、津浦兩線は均く南北に交通するも東西貫注の効果を缺如するが故に河北一帶の輸出入に極て困難を感ず、此等の困難を排除せんが爲には最も簡にして行ひ易きもの膠濟鐵道より線路を延長して聯絡せしむるを捷途とす、就て觀るに河北一帶に接近する線路の已成線、未成線等の内膠濟鐵道に近接する者道清順濟に若くものなれ、道清は已成鐵道にして東西貫注の線路に屬すと雖も而も延長甚だ短くして且つ輸出埠頭を有せず謂はば京漢線の支線とも稱し得べく能く東西貫注の効果を收めつつあるも之を充分に發揮せしめんとせば又膠濟鐵道を延長して道清に接續せしめざれば功を爲さざるなり、道清線は已成鐵道なるが膠濟線との中間を築造せざれば聯絡せしめ得べく其上は山西河北の石炭、鐵は凡て此線路より青島に搬出さる可く、浦口或は漢口に轉送さるゝ距離に比較せば近きこと言ふ迄も費用も又至廉なり

濟南より順徳に至るものは未成線に屬す  
と雖も若し事業が先づ劃策され年を逐ふ  
て施設する、とせば東西貫注の上より則  
ち京漢を横つて正太に通せしむべし是惟  
だに膠濟鐵道の發展を有望ならしむるの  
みならず京漢、津浦又此溝通を借りて一  
面には運河、黄河、漳河、衛河の水運に  
據り互に相聯絡して水陸並進したんには  
地方産業の發達、交通機關の運用は蒸々  
として昇天の勢を呈するに至らる

卯 國內聯絡輸送

査するに該鐵道の日管時代には從來未  
國有各鐵道と聯絡輸送契約を訂結したる  
ことなかりしが接收以後營業の推廣、交  
通發展の見地より既に積極進行を圖り昨  
年第五回國內聯絡會議には該鐵道の派遣  
員をも參與せしめ先づ旅客小荷物物の聯  
絡輸送を行はんとし本年二月一日より實  
施せり、聯絡取扱驛は青島、博山、周村  
濰縣の四驛とせり、貨物聯絡輸送に付て  
は該鐵道の規則が他の國有鐵道實施のも  
のと若しく異なる所ありて當分加入する能  
はざるも現在貨物規則に關しては客貨運  
賃規則改訂委員會にて修正に着手し來る  
第六回聯絡會議以前に貨車運輸規則及各  
等貨物運賃を修正し交通部に申請する筈  
とのことならば大約明年下半年にて貨物  
聯絡輸送も或は實現するなるべし

辰 海陸聯絡輸送

査するに該鐵道の運輸は輸出貨物多數な  
るが故に海陸聯絡輸送は實に切要なる企  
圖なり、日管時代に各汽船會社及南滿鐵  
道と何れも聯絡輸送契約の計結ありしが  
接收後會て契約審查委員會を組織し逐一  
審查の結果大連汽船、南滿鐵道及日華協  
信公司との訂約に係る直通運賃契約及日  
本鐵道省と訂結したる聯絡運輸契約を除  
きたる其他は大連汽船、大阪商船、日本  
郵船、原田汽船及南滿鐵道各會社との間  
に有する客貨聯絡運輸契約及日華協信公  
司、阿波國共同汽船會社との間の貨物聯  
絡輸送契約は何も繼續施行の必要あるを

認め特に昨年四月以後漸次書信を以て各  
聯絡輸送機關の代表者を青島に招請し會  
議の土原契約を其々修正の上交通部に認  
可申請したる所なるが交通部の認可以前  
に於ては當分舊契約を適用すること、せ  
り、想ふに此等聯絡と該鐵道の貨物運輸  
とは前途至大の關係あれば將來運輸發達  
に經濟亦充實の曉には須く研究の上自身  
に船隻を備へ輸出品を運送すること、せ  
ば該鐵道の運輸は自由に發展を期圖し得  
べきか

四、運賃標準及競争情形の考究

査するに該鐵道の貨物は粗貨數種を除き  
て規定外となし其他の貨物は概ね等級を  
別つこととなり祇だ發着區域及積載屯數の  
如何を視て運賃計算の標準となす、以下  
之に分述せば

一車扱

内地運賃 濟南以東、女姑口以西幹支  
線各驛往來の貨物に之を適  
用す

輸出運賃

濟南以東、女姑口以西幹支  
線各驛より青島及滄口間各  
驛に送出する貨物に之を適  
用す

輸入運賃

青島滄口間各驛より女姑口  
以西、濟南以東幹支線各驛  
に輸送する貨物に之を適用  
す

以上三種の運賃は各三級に分ち凡そ十五  
噸車に八噸以下を積載したるときは一級  
運賃を適用し最低屯を五屯とし計算す、  
九噸以上十二噸以下のものには二級運賃  
を適用し最低屯を十噸とし計算す十三噸  
以上十五噸以上のものには三級運賃を適  
用し最低屯を十五屯とし計算す三十屯に  
積載ときは上述の數を倍加し十五噸大形  
有蓋車使用のときは一割増徴とす

粗貨運賃

士砂石、煉瓦、石灰、鹽、  
灰肥料、骨、紙屑、襪襪、  
水、野菜、果實等に之を適  
用す

短距離運賃

凡て青島滄口間各驛に發  
着する貨物に之を適用する  
ものにて輸送距離極て短か

徐海延長線開通と

高徐線價値の増減(其二)

本稿は日本の鐵道事業界に於て無類の鐵道通  
て著名なる大村卓一氏の起草に係り名譽車  
所一として肯綮に當らざるなし今爰に其淵奥を揭  
けて參考に供せん

徐海延長開通と高徐線價値

第一章 緒論

本問題に答へんには其道程として猶、日  
兩國か此豫定線に對し如何なる期待を撃  
き見解を保持せしか先づ之を探究したる  
後改めて支那の立場により之を考察せば  
之等の關係は自ら明瞭たるに至るへし此  
見地より冗長の嫌あらむも順序として止  
點より闡明し斷定に到達する事をすべし  
一、高徐豫定線に對する兩國の見解

A 獨逸

獨逸的意義 山東省内に極限せらるる  
獨逸の勢力を北方濟順線に依りて河南  
に出で全省に根據する英國勢力を外側  
より壓迫しつづ更に一進山西陝西に突  
入して南下し來る露國勢力に拮抗せん  
とし南方は高徐線を傳ふて江蘇に伸び  
更に安徽湖北を縫ふて長江流域に先進  
し英國と覇權を争はんとしにるものな  
り

二、經濟的見解

濟順高徐兩線共山東鐵  
道の營養線として鐵道及青島の繁盛上  
重大なる意義を有する點に於ては兩者  
軒輊なきと高徐線の敷設權獲得當時隨  
海工程の進捗に對し疑問視されたる爲  
め高徐線を敷設するときは其收支を勘  
測する必要あり豫測の結果濟順線延長  
線に比し經濟的價値劣るものありと見  
て其敷設を躊躇せし處なるか千九百八  
年山東鐵道會社より本鐵道敷設特許期  
限を更に向ふ五ヶ年間延長方請願あり  
しに對し獨逸政府は一般外交上の關係  
と其交換條件を考量し支那側との間  
に本豫定線の敷設權還附契約を締結し  
支那側は之により本鐵路を自己に敷設  
することとなり

其後獨逸側にては支那政府をして敷設  
資金を借款せしむる上より本線の營業  
將して收支償ふや否やを疑問視し政府  
は青島總督府へ事實の調査を命じ一方  
山東鐵道會社の重役は青島在勤の重役  
に對して全權の照會を發せり

青島總督府は此年七月二十九日日本問題  
に關し青島商業會議所へ諮問せるに會  
議所は之を市内關係各商會へ通報し其  
回答を求め之によりて議員の討議を行  
ひたる上八月二十一日附を以て沿線の  
經濟事情に關する各商會の通報を左の  
如く摘録報告せり

一、シーメンス商會 青島に來る落花  
生の三分の一は沂州地方の産貨にして  
其一部は海州を経て青島に輸入せらる  
二、カローウイツツ 現今牛皮、棉花  
等盛んに沂州府より海州を経て上海へ  
輸送せられあり沂州府線開通せば悉く  
青島に來るべし

三、ジータス フランベック(哈喇)

沂州府線沿線は山東省内に於ける畜産  
地にて其副産物亦多し數多く質良好な  
り

四、ユーワル、コツプ(順和)、鐵道開

通せば多くの食鹽青島と經て沂州府方  
面に輸入せらるべし例せば二年前多數  
の船を内地に送れる事あり

右の外多くの商會は日露戰役間海州よ

り多數の豆粕を荷役し青島を經て日本  
に輸出せられし事あり鐵道開通せば總  
て青島經由となり從て豆粕及大豆の出  
荷も之を見るに至らん

輸入に關し禮和洋行は從前石油は凡て

上海より供給せられたるも鐵道開通後  
は此如き輸入品は一切青島經由となる  
べし

以上會議所所屬多數商會の意見なり本

鐵路が青島の繁榮に資する事大なるべき  
は明らかなる事實なるを以て速かに本鐵  
道の完成を希望し且此の鐵道より南方海  
岸方面に支線を作る事なく其線路は成る  
べく南方地區を抱入する如く選ひ大運河  
及び更に南方の冬れ路と良好なる連絡を  
開き得る如く其終点を決定するを要す

一方山東鐵道會社は青島重役「ヒンデ

ブランド」を千九百二十二年十月二十一日  
より十一月十一日に至る間に於て本線の

踏査を行はしめたり「ヒンデブランド」は  
高嶺より程を起し諸城、荅州、沂州府、  
嶧縣を經て韓莊に出で歸路は荅州より道  
を安邱に採り坊子南方の黃旗堡に出で青  
島に歸來せり

此旅行に於て氏は本線の充分敷設の價

値ある事を確認し詳細の報告と共に此意  
味を復命せり

B 日本

一、政策的意義 日本は新來の勢力を以  
て獨逸が過去十五ヶ年間の濫善に代ら  
んとするは諸事猝に及び難きものある  
と山東鐵道及青島は之を如何に經營劃  
策するも濟南以東の局地に活くべきに  
非ざるか故に宜しく速に獨逸の權利を  
繼承し支那をして道濟線と共に本豫定  
線を完成せしめ上下一致努力を支那の  
中原に舊つて注さるへからすしとせ

一、經濟的見解

本豫定線の經濟的價値の消長は一に海  
州築港の實現と否とに懸れりとし左の  
如き見解を持せり

(イ)海州築港實現したる場合の形勢變

化海州が難工事を排し理想的築港の完  
成を得外洋汽船の出入自由とならんか  
往時天津芝罘に對する青島の關係の如  
く本港は天津、青島に對し一大打撃を  
與ふるや明なり今徐州を起點として兩  
地の距離を較するに高徐線を通して青  
島に至らんとせば三百哩なるに海州に  
出る距離の百八十哩なるに顧み沿岸の  
民船港に於ては北は濱口以南王家灘、  
石臼所、夾倉、濤雄、安東街、柘注、  
朱蓬口、青口より南は潮河、响水口、  
燕尾港等の物資は必ず海州に吸集せら  
る可く從つて諸城の南部荅州沂水、郊  
城、嶧及從來青口貨圈内に在りて津浦  
線敷設により其勢力圈内に包括せられ  
たる蒙陰、費等の物資は勢海州に集ま  
るに至るへ我青島貿易は唯帶の如き山  
鐵沿線に限られて卒ふして半島部及濟  
濟與地並に直隸南部の一部を其勢力範  
圍として維持さるに至るへ且つ海  
州築港可能なる場合は高徐線の貨物が  
却て徐海線に吸集さるる傾向あるへし  
之に對して海港特運賃率を適用する  
も徐州に集散し又は徐州を經由する貨  
物を争奪する事困難なる事情に陥らん

# 支那の精練労働

(其一)

家内工業 自足経済時代の遺物として農業時代に次で来たものは手工業にして即ち自家産出の原料を使用し自家用の爲めに一家内に於て原始的工業を営むのである、現今の手工業は支那各地に散在して支那工業制度の一部を爲してゐる、即ち一家庭内で労働の分量を調和する爲めには兼業として原始的の家内工業に従事してゐる、此種に自家用ばかりでなく自ら一企業者として之を顧客又は問屋に販賣するものもある

家内工業に在つては別に専門の企業者即ち問屋があつて多數の手工業者或は家内工業に従事する労働者をして各自の住居内で、その元締め命令した工業的生産に従事するものであつて支那各地に手工業の制度と共に舊式工業の代表として存在してゐる

家内工業發達の結果として生じた手工業の幫の制度は一の例外を設けるやうになつた、即ち従来の手工業であつたものが之を脱して新に家内工業制度の下に獨立自營の労働者となつたからである、故に手工業は別れて手工業に屬するものと家内工業に屬するものと二途になつた譯である

家内工業は貨物を製作する經濟分化的先驅として小數労働者の力で成就し得ない仕事を多數の協力で爲し遂げるといふことであり之が次第に分量的にも品質的にも發達して精巧な生産品を要求するに至つた、即ち分業の發達と共に分業に基づく協業が生れて来た此協業は又労働分業即ち生産の行程を幾等にも區分する分業を發達せしめて清朝末には各種の機械が輸入されて家内工業から一躍機械工業に進んで来た、現在支那の商埠地大都會は機械労働者の供給が年々増加して来た、以上の他に支那には工業の發達として民

間と別個の官設工場があつた、それは昔黃帝時代から設けたのに起つて殷時代には六工に分けられ周代になつて攻木の七工場、攻金の六工場、攻皮の三工場、設色の五工場、刮磨の五工場、搏埴の二工場を置いた、春秋戰國時代の世になつて群雄諸侯は武器製作の工場を競ふて設けた、昔の官設工場の特長としては現今社會主義的理想としてゐる共產制度の下に一般人民の日用品を製作してゐた、労働者に對してはその出來高に依つて各別の賃銀を支給して生産品は市場で一般人民に販賣してゐた即ち生産物の私有を禁じて共同生産制度の下に貨物を生産する所などは社會主義者の理想を實現してゐたのである、當時斯くの如くして民間工業と官營工業とは並行して進んで来たが次第に民營に移つて現在では兵器軍需品だけがその跡を遺してゐる、尚ほ精練労働者總數五十万人に達すると云ふ

機械工業 前述の如く支那の機械工業は十九世紀清朝時代新式機械の輸入を以て起源として機械工業制度を形成して清朝初年に政府は軍備の必要から上海の江南機器局に外人技師を聘して新式機械を購ひ次で福州の政船局にも及び後ち北京廣東、蘭州、蕪湖、吉林、哈密、上海等に兵器廠を起したが同時に民間にも機械工業が漸次發達して機械工業の労働者は増加した

一、各省工場數及び労働者數 (一九一三年支那政府調査)

地方	工場數	労働者數
地 方	一七六	四、八二六
京 兆	九二二	一八、六六八
直 隸	一、〇八〇	三七、六八六
奉 天	二〇三	八、七三九
吉 林	一、三六六	三〇、九四九
黑 龍 江	四二七	一四、〇七〇
安 徽	一、九八三	五五、二三〇
江 蘇	二、五〇七	六四、六三八
浙 江	一、一七〇	二七、六四六
福 建	五九八	三〇、五二七
湖 北	七五二	四三、二一三
湖 南	九八一	三四、五三六
山 東	六〇〇	八、六二七
河 南		

A 製造工業の部		B 機械及器具製造工業の部		C 化學工業の部		D 食料品工業の部		E 雜工業の部		F 特別工業の部	
種 類	工場數	労働者數	種 類	工場數	労働者數	種 類	工場數	労働者數	種 類	工場數	労働者數
製糸業	一、一七七	一三、三三八	機器製造業	二五	七三六	製糖業	二、四四五	三〇、〇九六	印刷製字業	五六	四、五八七
製棉業	九七四	二六、〇〇八	船舶車輛製造業	一九五	二、八三八	製糖業	九七五	一三、六八二	紙製品業	三〇四	七、二一五
紡績業	三七一	一九、〇四六	器具製造業	三七五	七、九七二	製茶業	七〇三	一四、〇四八			
製線業	三六	五六二	金屬製品製造業	一、九二九	二五、一五一	製茶業	七〇三	一〇、〇二七			
織物業	一、二八九	五九、五八六	計	二、五二四	三六、六九七	製茶業	五五五	一四、二五九			
刺繡業	二六	一、二二八				製茶業	九	一六八			
染坊及漂洗業	二五	三、四三五				製茶業	二〇二	二、二七六			
編物業	二二	二九七				製茶業	四九	七二三			
成衣業	五四七	七、八一三				製茶業	二九一	三、三六〇			
計	四、六四二	二四九、三二四				製茶業	四六	四六七			
						製茶業	一四〇	二、三二六			
						製茶業	六、一七五	一八一、七三二			

竹藤柳製造業 五九九 一〇、四二八  
毛皮革製品業 五五一 九、八一四  
玉石牙骨介角製造業 六九 九六〇  
雜業 二、一八四 六四、三五一

計 二、七三三 六三〇、八九〇

三、政府直轄機械工場數及び労働者數

所轄官廳	工場數	精練労働者	不精練労働者
國務院	二	一〇一	二二
內務部	一八	一、五二四	一四
財政部	一一	五、五八九	四三〇
陸軍部	一一	九、四二二	四三〇
海軍部	三	二、〇九七	九六
交通部	二八	七、一〇一	一、四二四
總計	七四	二五、八三四	二、五二六

(支那労働問題)

大手筋が無暗に圓及金塊を買煽り銀行側賣向はざる爲益々軟化三志一片八分の七十六弗四分の三、五十四兩二分の一買氣に引けたり

火曜圓爲替は更に一段の弱味を示し一時五十四兩四分の三に達したるも投機大手筋の利喰賣現はれ而も買入手据の爲稍硬化して十二月物三志一片十六分の三十七十六弗四分の九、五十四兩八分の三賣氣に引戻したり、水曜日米相場強調の報に磅弗は殆ど變らざるに圓爲替の特みに軟化して賣手皆無となり三志一片八分の七、七十六弗二分の一、五十五兩に引けたり、木曜連續的軟弱氣分裡に更に倫敦銀塊の下落の報を入れて市場は又もや混亂に陥りて全く投機場面を現出し最高三志一片四分の三、七十六弗八分の一、五十五兩八分の一最低三志一片十六分の七、七十五兩八分の七、七十五兩八分の五、五十五兩八分の七、五十五兩四分の一買氣に引けたり

金曜市場一時總買入相場一段低落して最低三志一片八分の三、七十五兩四分の一、五十六兩八分の三に落ち込みたるも大手筋の利喰に反撥して引け十二月物買入三志一片十六分の十一、七十五兩八分の七、五十五兩八分の七、土曜日市場再混亂して愈々軟弱に陥りたるも一般警戒氣分濃厚にして出來高僅少、十二月買入三志一片四分の三、七十六弗四分の一、五十五兩四分の三賣入三志一片八分の五十七十六弗、五十六兩と軟調裡に引けたり

金銀相場表

品名	二日	三日	四日	五日	六日	七日
倫敦銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
紐約銀塊	七四	七四	七四	七四	七四	七四
上海銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
香港銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廈門銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
福州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
廣州銀塊	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
汕頭銀塊	三〇三	三〇三</				

爲替相場表

Table of exchange rates for various currencies including British Gold, Japanese Gold, and others, with columns for dates from the 2nd to the 7th.

商 况

(自十一月二日) (至十一月七日)

重要商品市況

綿糸布 鐵道全然杜絶の状態にあり米棉三品の底入乃至は奥地拂底相場を眺め乍ら當地市況は依然低迷裡を脱せず、唯華商賣聯合協定値を引續き維持して表面の市價維持に努め居れ共賣行不牙一方聯合團外の問屋又は實需客の賣規ひ絶すして結束の持續又疑問裡にあり奥地時局益々紛糾と共に目先尙悲觀裡に暮れたり相場亦見當なし

花生及生油

週初上押氣配にあり西南口物十一元三十仙より七十仙を上げたるも週央頃より日に五六車の出廻りあると民船發中により海路運來せらるるもの次第に増加するに到りしため時局の關係上手持筋も危険と見て値段に拘らず手放すに到り従つて相場軟調十元八十仙見當を唱ふるに到る、殼付は八元十仙乃至二十仙見當保合主に輸出筋が賣約の手當として買付けたり、生油二十二元より二十三元更に二十三元五十仙と上伸、之れ廣東幫が南支方面に對する賣商内の引當として買漁りたる結果なり、殼無先物は全然引合なし

麥 粉

日本及米國方面より多數の入荷ありしためその競争に因るものと一方需要筋も小口商内出來るのみにて相場軟弱綠鹿三元四十二仙より三十三仙綠ダイヤ三元四十五仙より三十仙綠兵船三元

四十仙より二十五仙と何れも下押、現在當地のストツク全部消費さるゝ迄は當分先安見込なり

糖

ジャワ好轉各地共一齊に相場上向き漸く相場持直しの氣運に向ひつゝあるも當地は依然として時局の影響を脱する能はず地賣小口にすら荷動を見ず無商内の中に推移せり、然し多少にても荷動きを見得る状態とならばT X 十元七八十仙と四、五十仙方の上伸に出發すべし

石 炭

その後輸出引合殆んどなく海州始め各沿岸の民船貿易旺盛期なるも民船發のため之も殆んど無し、従つて同方面に到るための輸入炭も殆んど無く只一般家庭用炭の不足を補ふ程度に輸入せらるゝに止る、當地の紡績會社も今の所相當貯炭を有し差當り困難を感ぜざるも現在市中在荷六万屯に過ぎず従つて相場も一般に上向き氣配にして殊に塊炭は強し週間當港積出は上海向博山炭一、二〇〇屯淄川炭二、九〇〇屯燃料炭淄川炭一、三五〇屯にして輸入炭は日本炭一、〇〇〇屯なり

肉

時局の關係上生牛の出廻り薄なるにも拘らず内地は荷問へ氣味にあるため相場保合に推移す

鶏 卵

内地依然不味の状態を脱せざるを以て當地時局の影響にて出廻殆んど皆無の状態なるにも拘らず相場保合を續け大廿三元中廿元小十六元五十仙見當

取引所市況

銀 塊

各地諸材料益々軟調を呈したるため當市場も前週末より一圓三十五錢安の一三六圓三十錢に寄附き貿易樂觀にて金塊爲替の奔騰を告ぐるや忽ち五落の情勢となり週央途に一三三圓台に下押し、週末日米爲替の四十二弗を報するあり上海標金二百七十四兩に奔騰するや途に三十圓の關門を割つて安値一三九圓八十錢を覗きし週末南方の戦局變移に僅か乍ら反撥二圓増みを保合ひ一四九圓十錢に大引け

物産 殼無は商内皆無、生油一月限十八元三十仙乃至四十仙見當保合ひ大した變化なし

日置全權の演説 第二回會議に於て 余は速かに支那をして關稅自主權を恢復せしむる目的を以て第一回總會に於て具體的の提案を爲し其後本委員會第一回に於て我提案につて敷衍説明且つ吾人の可なりと信する案を一層的確に指示する所なつた即ち(一)支那は一定期間内に厘金廢止を實行したる上國定關稅條例を設く(二)右準備期間内に支那は關係國と新條約を結び該條約は關稅に關し現在條約に從はるものにして國定關稅條例の實約と同時に實施する吾人の提案は單純率直にして且つ關稅自主權恢復に當りて我國は親しく經驗したる所に基くを以て實際的なるものと思考せらる支那と列國間を現存條約中不對等と思惟せらるゝ二點かある

支那の釐金撤廢 大綱案

第一條 左記各項の國內に於ける通過稅は中央收入たる各省已收入たるを問はず悉く之を撤廢す 一、厘金統稅、貨物稅、鐵路貨捐或は其他のものにして名を異にするも實に於て同一なる通過稅 二、商埠を距る五十支里以内及五十支里以外の常關 三、正雜各稅中通過稅の性質を含むもの 前各項の撤廢すべき通過稅は發送途中或は到着何れの時に於て徵收すると問はず通過貨物に對する徵稅は悉く此内に包含す 第二條 海關に於て徵收する子口半稅再輸半稅及沿岸貿易稅は一律に撤廢す 第三條 國內通過稅撤廢後常關厘金局等に於て從來徵收したる稅金にして確實に通過稅の性質を含まざるものは財政廳に報告して其許可を得たる後他の徵收稅關に移管して繼續徵收する事を得 第四條 各徵稅監督機關は前三條の規定により通過稅と非通過稅、撤廢すべきものと繼續すべきものとを區別し詳細に其性質數目を査定し一定期限内に其報告書を作成す 第五條 第一條第二條第三項による通過稅の撤廢は各省區の損失にして第一條第二項による通過稅の撤廢は中央の損失である政府は其れを區別して之を補充すへし前項損失の計算は實際撤廢の數を統計し其第二條第三條の規定に依り他の徵稅機關に移管し繼續徵收するものは當然削除す 第六條 政府は民國成立後各種の國內通過稅調査に根據し其收入の最も多い二十年を選び平均の標準とし先づ前條報告の概數を評定し餘裕と存して裕充方法を決定すへし即ち國內及國際狀況を斟酌して或は同時或は期を分つて撤廢を實行すへし 第七條 國稅附加にちり得る處の收入は悉く先づ中央及各省區の國內通過稅撤廢による損失の補充に充當すべく但し國內の通過稅を先づ撤廢する必要を生し而も附加稅實行期に至らず或は既に實行するも附加稅收入が定額に達せず補充に不足する時は政府は公債を發行して立替交付する事を得 第八條 前條補充額は各省區に於て新稅を課し通過稅撤廢の損失を確案に補充するに足はに至つた後に非されは中央政府は交付を停止する事を得す 第九條 國內通過稅撤廢の確實なる額及補充額に關し若し計算上爭執を生したる時及第三第四條の規定により通過稅なるか否か撤廢すべきものなるか否かの標準に就き若し財政部各省區間に見解を異にする場合は財政善後委員會に於て協議決定す 第十條 本大綱は臨時執政に提出し其裁可を経て財政官署及關稅特別會議委員をして之を執行せしむ

寄贈書類 (自十一月九日) 一、海外商報每 號外務省通商局 二、朝鮮經濟雜誌第一二七號京城商業會議所

一、月 報第四〇號群山米穀商組合 二、月 報第一九二號木浦商業會議所

一、月 報第四三號知多商業會議所 二、旬 報第五二六號漢口日本商業會議所

編輯兼 島津忠男